

(旧) 県民交流広場 全県オフィシャルホームページ 掲載記事

掲載コンテンツ：リレーコラム

掲載時期 平成 26 年 2 月

テーマ 「潤いのある、会話の弾む、魅力的なまちづくりを目指して」

寄稿者 上郡校区まちづくり推進委員会

ようこそ、私たちの広場を訪問頂き有難うございます!!
 私たちは、上郡町の旧市街を拠点に活動するグループです!!
 では、ご案内しましょう!!

◆拠点が出来るまで

上郡町の各小学校区に 1 つの県民交流広場の設置を目指して、上郡町より上郡区の連合自治会に相談が持ちかけられたのが平成 21 年 10 月のことです。当時の連合自治会の幹部を中心に何度も何度も協議を繰り返し、平成 22 年 6 月に計画書を提出しました。施設整備が平成 22 年 10 月に承認され、平成 23 年 3 月末に施設が完成し実質的な活動を開始しました。

◆主な活動施設は 2 か所です

(1) 菊森さんの家

かつて栄えた街道筋沿いの個人宅を町家風に改装した憩いの場



1F ギャラリー (28 平方 m+18 平方 m)、研修室 (14 平方 m)、和室 (8 畳、6 畳、6 畳)、事務室 (3 畳)、漫画読書室 (6 平方 m)、手芸品等展示棚コーナー (12 平方 m)、ダイニングキッチン (6 畳)、浴室、水洗トイレ、裏庭 (215 平方 m)



2F 和室（6畳4室）

訪問される方が、部屋数の多さに驚かれます。

ここでは様々な活動が行われています。

パソコン教室、デジタルカメラ教室、フラワーアレンジメント教室、健康体操、万葉集を楽しむ会、お香を聞く会、源氏物語游友の会、大人の簡単ピアノ教室、講演会、いつも青春大人塾、夏休み宿題教室、ひな祭り（お雛様の展示）、毎月の写真展示会、ライブコンサート、各種展示即売会・・・etc

個々に説明すると、一冊の本が出来上がると思います！

(2) 鈴の宮健康広場

健康維持を目的にしたグラウンド運営



皆さん元気で、会話が弾みます。

説明する必要はないと思います（笑）、上記の写真よりご想像下さい！

◆当委員会が目指していること

(1) 柔軟な活動運営

私達は、自治体等公的機関が運営する公民館ではカバーできない分野のコミュニケーションの活性化を目指しています。

公民館の場合は、予算化された年間計画に基づき運営されますが、私達の場合は臨機応変、良とする活動はすぐに取りかかります。

その目的を達成するためにも、民家を改装し拠点としました。

イベント開催時以外でも特に用事が無くても、立ち寄れる様に、週 5 日（水曜日～日曜日 AM10:00～16:00）オープンしています。

(2) 徹底した情報共有

日々起こるいろんな情報を、登録メンバーの方にメールでその都度配信しています。

まとめて配信するより、小間切れに何度も配信するのがコミュニケーションを円滑にすると思っています。

また、毎月、「菊森さんの家からのお便り」を上郡校区 13 自治会（87 隣保）に回覧しています。

内容は、最近の活動状況やこれからの行事等のお知らせです。

なるべく判りやすく写真を多く掲載してお配りしています。

月に 1 回の便りに目を通すのを楽しみにされている、お年寄りもいらっしゃいます。

(3) 行政に頼らず出来る事は率先してやる

地域の一人暮らしや高齢者の方が、安心して生活できる様に、「命のバトン」を希望される方に配布する活動も行っています。

計画段階で行政がやるべきことだとの意見もありましたが、行政に頼るだけではなく、自ら出来る事は先行して行い、それが地域の役に立つのであれば行政も無視はできないであろうと考えています。

(4) 輪を広げる

私達だけでは出来ないことも、他のグループと協働すれば実現可能になる事が多々あります。

平成 25 年度は、上郡町旧市街に立地する（ギャラリーひがし蔵）（Cafe 楽房円心）さんと一緒になって「上郡町ろまん再発見フェア」を行いました。

これからも輪を広げる試みを続けていきます。

(5) 日々試行錯誤

私達の活動は、昔から伝わる様式化された伝統行事ではありません。

何でも取り組み、良ければ継続し、輪を広げることを大切にしながら、日々試行錯誤を続けます。

◆その一方で大きな悩みも抱えています

(1) 世代交代

何か試みる際には、応援してくれるメンバーはある程度そろいます。

またその輪も少しずつ広がっています。

でも、設立当初からのキーになるメンバー5名は増えていません。

(60代 1名、70代 3名 80代 1名)

街と同様高齢化が進んでいます。

バトンを渡す次の世代をどの様に、養成するのか大きな課題です。

(2) 自主運営

平成26年度で活動5年目に入ります。

そうです、県民交流広場事業の最終年度です。

光熱費、家賃等、活動を維持運営するために最低必要な経費と収益がトントンの状況です。

つまり新しいことに取り組む費用を捻出できる体制になっていません。

事業継続をするためには、コミュニティビジネスとして成り立つように、秘策を練らなければなりません。

そうです。若者を呼び込む新たな発想の秘策を練らなければなりません!!

どうぞ、「菊森さんの家」にお越し下さい。

そして、美味しいコーヒーをご一緒しながら

秘策の相談にのってください。お待ちしております!!